

2023年度
一般入学試験3期

千葉商科大学大学院
商学研究科修士課程
政策情報学コース

次の2つの課題から1題を選択し、解答しなさい。

課題番号	問 題
課題1	<p>まちづくりの考え方として、従来の協働と併せて共創(まちの魅力や地域の価値を共に創る)がある。共創の主体は、自治体(行政)や市民だけでなく、地域コミュニティや企業、大学といった、その地域のステークホルダー全体となる。コロナ禍により人々の生活や働き方に変化があり、従来の都市・地方といった観点以外も含んだまちづくりの選択肢がある。</p> <p>そのような中で、まちづくりにおける共創の在り方や可能性について論じなさい。回答に当たっては、都心部や地方・農村部といった"まち(地域)"を自身で想定し、そのような地域での課題を挙げ、それに対する共創による課題解決方を論じること。また共創における登場人物(主体)や、その共創において期待される役割についても述べなさい。</p>
課題2	<p>Stable Diffusionをはじめとして、AI がクリエイティブな領域で注目を集めている。これにより人間とAIの役割が大きく変化したともいわれている。一般的にクリエイティブとは、人間が持つ本来の能力であり、その創造的な活動やアイデアが社会に貢献する価値をもたらすものと考えられる。</p> <p>現状AIがクリエイティブな活動に取り組むためには人間が提供する指示やデータ、評価が必要なのは間違いない。</p> <p>ではAIによって、データ分析や予測、生成などの作業が自動化され、人間はより創造的な活動に取り組むことができるようになったらどうか。</p> <p>人間とAI、それぞれの役割分担、相互作業によってよりクリエイティブで社会的、文化的な価値をもつ未来を創造するために必要な関係、視点とはどのようなことが考えられるだろうか。</p> <p>AIのクリエイティビティは人間のクリエイティビティと何か違うのだろうか。</p> <p>AIには代替できない人間が持つ創造性や感性とはどのようなことと考えられるだろうか。</p> <p>このような人間とAIのクリエイティブな役割関係について、できるだけ具体的にあなたの考え、アイデアを述べなさい。</p>